

立志・創造・敬愛



上野台中学校だより
令和8年5月29日



最終下校時間 17:40

梅雨入りを前に、木々の緑が一層鮮やかになってきました。6月は1学期の折り返しとなる時期です。1年生にとっては初めての定期考査が行われます。本校の定期考査は学期に1回だけ行います。そのため、教科数も多く、計画的に取り組むことが大切です。学習の仕方や不安に思うことがあれば、先生や先輩、友だちに聞いてみてください。

さて、6月は、気温や天候の変化が大きく、体や心にも疲れが出やすい時期です。生徒一人ひとりの様子を丁寧に見守りながら、安心して学校生活を送ることができるよう支援してまいります。また、ご家庭でも健康管理へのお声かけなど、ご協力をお願いいたします。

1年生校外学習 わくわくオーケストラ・カップヌードルミュージアム

1年生は、5月20日(水)に兵庫県立芸術文化センター(西宮市)、カップヌードルミュージアム(池田市)での校外学習に取り組んできました。

兵庫県立芸術文化センターでは、県下各地から集まった多くの中学生とともに兵庫型体験教育「わくわくオーケストラ」に参加しました。オーケストラの生演奏による『スター・ウォーズ組曲よりメイン・タイトル(ジョン・ウィリアムズ)』『白鳥の湖(チャイコフスキー)』『交響曲第9番新世界より第4楽章(ドヴォルザーク)』の素晴らしい音の響きを包まれた時間でした。また、弦楽器、木管楽器、金管楽器、打楽器に大別された楽器の種類や、その音色を、聞き覚えのあるフレーズなどを織り交ぜた紹介により、楽しく知ることができました。最後の当日参加した全中学生による嵐の『ふるさと』の合唱は、とても感動的なものでした。



その後、池田市へと移動し、池田駅前の公園にて、お弁当を広げ、昼食をいただきました。昼食後、カップヌードルミュージアムにて、オリジナルカップヌードルづくりに取り組みました。カップを各自で工夫してデザインし、スープの種類と入れる具材を決め、世界に1つだけのカップヌードルをお土産として持ち帰りました。

この1日、演奏会での鑑賞マナーや、公園や歩道などの公共の場でのマナー、カップヌードルミュージアムのような多くの人が集まる場でのマナー、お世話になった方への感謝など、多くの場面で、自分で考え、行動する場面が多くありました。今回の校外学習で経験したことを、これからの学校生活にも活かしてください。

生徒総会 「想像と創造～虹の向こうの未来へ～」



5月22日(金)の6時間目に、上野台中学校生徒会の会員である生徒による生徒総会が開かれました。令和8年度の生徒会のスローガンは「想像と創造～虹の向こうの未来へ～」です。生徒の皆さんの「発想(想像)」や「行動力(創造)」をもとに、上野台中学校での学校生活がより豊かなものとなるよう、意見が交わされました。

「図書館の開館時間を拡大してほしい」という意見に、「時間の制約もありますが、学校司書の先生がいる日については検討していきます」との回答がなされました。意見を出してくれたからこそ、その対応を考えていくことができます。上野台中学校での皆さんの学校生活の充実に向け、「こんな活動に変えてはどうか」「取り組みをこう変えていくといいのでは」など、日常の活動や取り組みを、これまでと少し異なる視点でとらえてみてほしいのか。

1日(月)	ALT 子S SC	19日(金)	専門委員会 子S SSW
2日(火)	ALT 司書 子S	21日(日)	三田市総体(剣道)
3日(水)	司書 子S	22日(月)	定期考査
4日(木)	歯科検診 子S	23日(火)	定期考査 司書
5日(金)	眼科検診 尿検査(2次) 子S SSW	24日(水)	定期考査 情報モラル教室 司書
8日(月)	子S SC	25日(木)	子S
9日(火)	3年修学旅行 ALT 司書 子S	26日(金)	朝礼・壮行会 子S SC SSW
10日(水)	3年修学旅行 司書 子S	27日(土)	三田市総体
11日(木)	3年修学旅行 子S	28日(日)	三田市総体
12日(金)	子S SSW	29日(月)	自主学習タイム 子S
15日(月)	自主学習タイム 安全点検 子S SC	30日(火)	ALT 子S
16日(火)	ALT 司書 子S	【給食未実施日】	
17日(水)	司書 子S	3年生 6月9日(火)～11日(木)	
18日(木)	子S	全学年 6月22日(月)～23日(火)	
		※毎週月・木曜日 ノー部活デー(6/25を除く)	
		※毎週月曜日 定時退勤日	

【7月の主な予定】

11・12日 丹有総体 15日 安全点検 16日 大掃除 17日 終業式
21～23、27日 個人懇談 23日～ 県総体 24日 校区職員研修会

熱中症に注意してください!!

暑さも本格化してきました。熱中症に気をつける時期です。熱中症は、毎年急搬送される例や亡くなった例が報道されるなど、重症の場合は死に至ることもある恐ろしい病気です。熱中症は「炎天下で運動しているときにだけかかる」ものではありません。運動していなくても、屋内であってもかかる可能性があります。

どのような状況で起きやすいかというと、気温が高く、湿度も高い中で長時間過ごしているときです。こうした条件下では、運動中はもちろん、そうでなくても体温調節のために汗をかき続けます。すると、体内の水分とともに塩分やミネラル等も減り、意識混濁などが起きてしまいます。さらに進行すると多臓器不全に至ってしまいます。

熱中症にかからないための対策としては、何よりも、こまめな水分補給と塩分補給があります。「のどが渴いた」と感じる時には、すでに多くの水分が体から失われています。そこで、一定の時間ごとに補給していくことが肝心です。また、睡眠や食事が偏ると、体調不良に拍車をかけるので気をつけてください。

もし、自分や友だちに熱中症の疑いを感じたら、学校であれば近くの先生にすぐに声をかけてください。学校外の場合は、通気がよく、日陰などの気温の低いところで横になり、ベルトや靴などの締めつけを解いて体を楽にし、徐々に水分を補給するようにしてください。そのうえで、場合によっては119番通報により指示を受け、救急隊員の到着を待ってください。さらに気をつけたいのは、しばらく休んでよくなったからといって、それまでと同じ運動や作業を再開したり、同じ状況下に戻ったりしないことです。一旦よくなったようでも、体内の機能は完全には回復していません。運動を再開したために重症化するという場合もあります。

気象情報を把握し、健康・安全に注意することを心がけていきましょう。